

SHARP

ドラム式電気洗濯乾燥機

業務用

取扱説明書

据付編

形名

イー エス エイチディー エル

ES-HD63L

設置される方へ

この取扱説明書(据付編)を必ずお読みになり、正しく設置してください。

設置の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

不具合のないことを確かめてからオーナー(管理者)の方にお渡しください。

同梱の付属品(本書に記載)をお確かめのうえ、「輸送用固定ねじ」をオーナー(管理者)の方にお渡しください。

オーナー(管理者)の方へ

この取扱説明書(据付編)は、転居や移設、また配管清掃後などの再設置に備えて、「輸送用固定ねじ」とともに必ず保存してください。

もくじ

ページ

準備と確認

- 持ち運びかた

安全上のご注意

各部のなまえ

- 各部のなまえ
- 付属品

据え付け前の確認

- 寸法図
- 据付場所
- 設置寸法
- 排水口の位置
- 水栓のタイプと蛇口の位置
- 電源とアース線

据付と移設

据え付ける

- 1：排水ホースの取り出し方向を変える
- 2：輸送用固定ねじをはずす
- 3：排水口に接続する
- 4：がたつかないように調整する
- 5：給水ホースを取り付ける

試運転する

- 1：洗剤ポンプの準備
- 2：試運転する
- 3：必要に応じて

転居、移設のとき

表紙

2

3

3

3

4

4

4

5

6

7

7

8

8

8

9

11

11

13

13

15

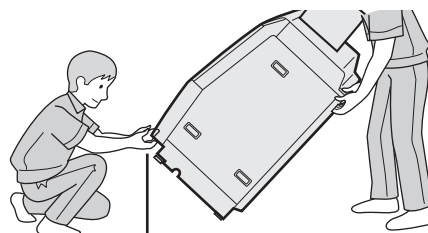
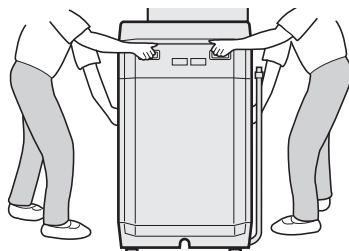
16

裏表紙

持ち運びかた

2人以上で持ち運ぶ

- 移動のさい、床の傷付きなどにご注意ください。
- 輸送用固定ねじを付けて移動させてください。
【外槽が傷付く原因】





下にも「とって」があります



安全上のご注意

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。







■ 誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

 警告	「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。
 注意	「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。


■ お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

	してはいけないこと。
	しなければならないこと。

警告 火災や感電、けがを防ぐために

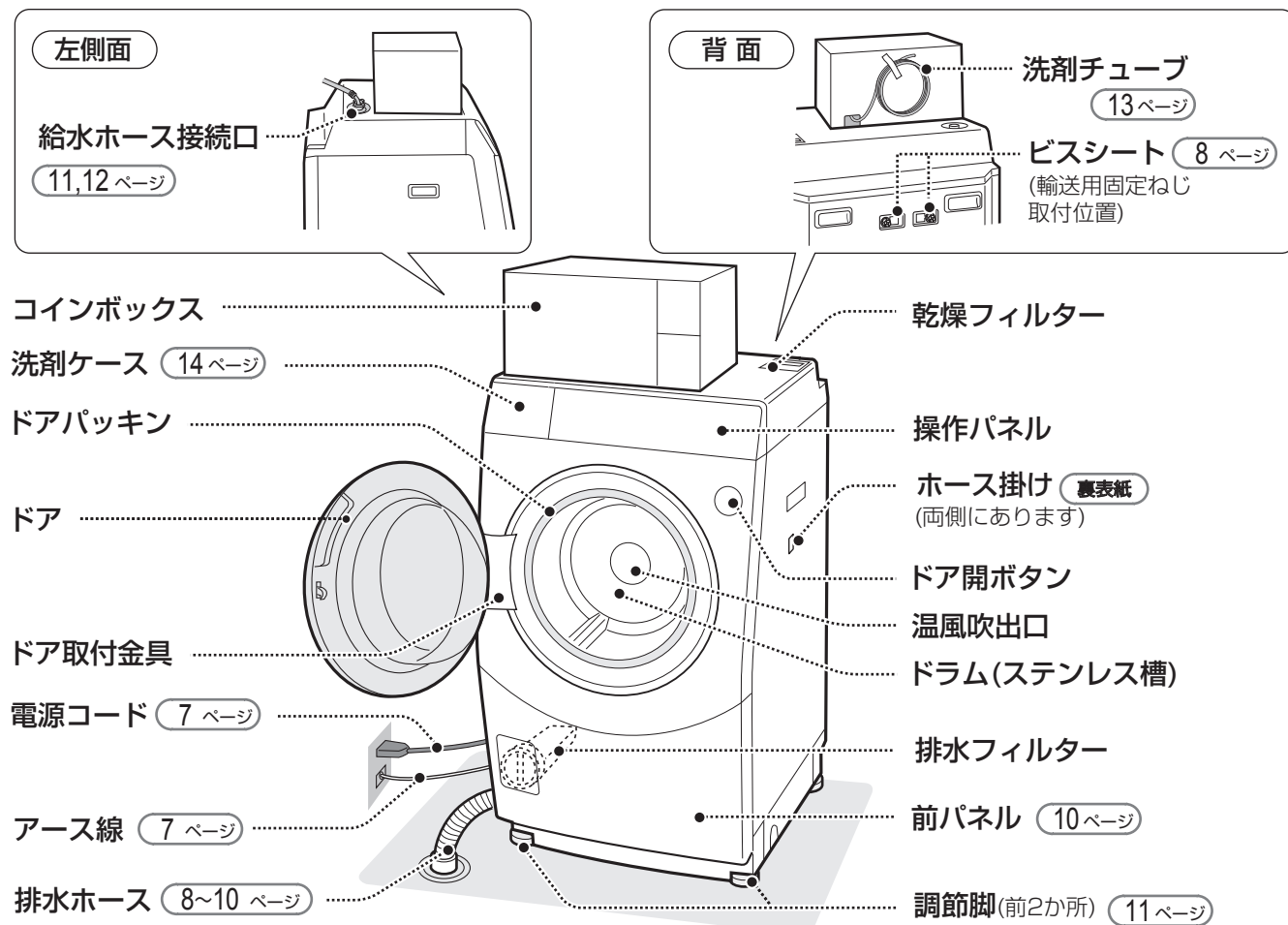
 移動や設置のさいは必ず電源プラグをコンセントから抜く (感電やけがの原因)	 アースを確実に取り付ける (故障や漏電のときに感電の原因) アース線接続
 電源プラグは、濡れた手で抜き差ししない (感電やけがの原因)	 浴室など湿気の多い所や風雨にさらされる場所に置かない ● この洗濯機は室内用です。必ず屋内に設置してください。 (感電や漏電による火災や故障の原因)
 交流100V、定格15A以上のゆるみがないコンセントを単独で使う (電源や定格が異なったり、他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因)	 引火物を本体の中に入れたり、近付けない ● 灯油・ガソリン・シンナー・アルコールなどをドラムの中に入れたり、それらの付着した衣類を洗濯、乾燥しないでください。 (爆発や火災の原因)

注意 漏電やけがを防ぎ家財などを守るために

 運転中は、本体の下に手足などを入れない ● とくに、置台などを使用すると床面とのすき間が大きくなります。ご注意ください。 (電気部品・回転部があり、けがや感電の原因)
--

各部のなまえ

各部のなまえ



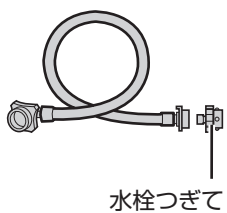
ドアについて

- ドア開ボタンを押すと開きます。閉めるときは、ドアをしっかり押してください。
- ドアを開閉するときは、ドア取付金具(ヒンジ部)の近くに手を置かないでください。
【けがの原因】

付属品

- 給水ホース(1組)
長さ0.8m

(11,12 ページ)



すべて同じ袋に入っています

- 鍵(2個: コインボックス用) (オーナー編)
- ビスシート(2枚) (8 ページ)
- ボタン隠しラベル(4枚) (オーナー編)
- ドア説明ラベル(1枚: セキュリティロック設定用) (オーナー編)
- ラベルシート A(1部: セキュリティロック設定用、コース取り消し用、乾燥時間・料金変更用) (オーナー編)
- ラベルシート B(1部: 洗剤ケース使用時用、ドラム洗浄コース取り消し用) (オーナー編)
- ラベルシート C(1部: コースエラー表示説明用) (16 ページ)
- 保証書(1部)

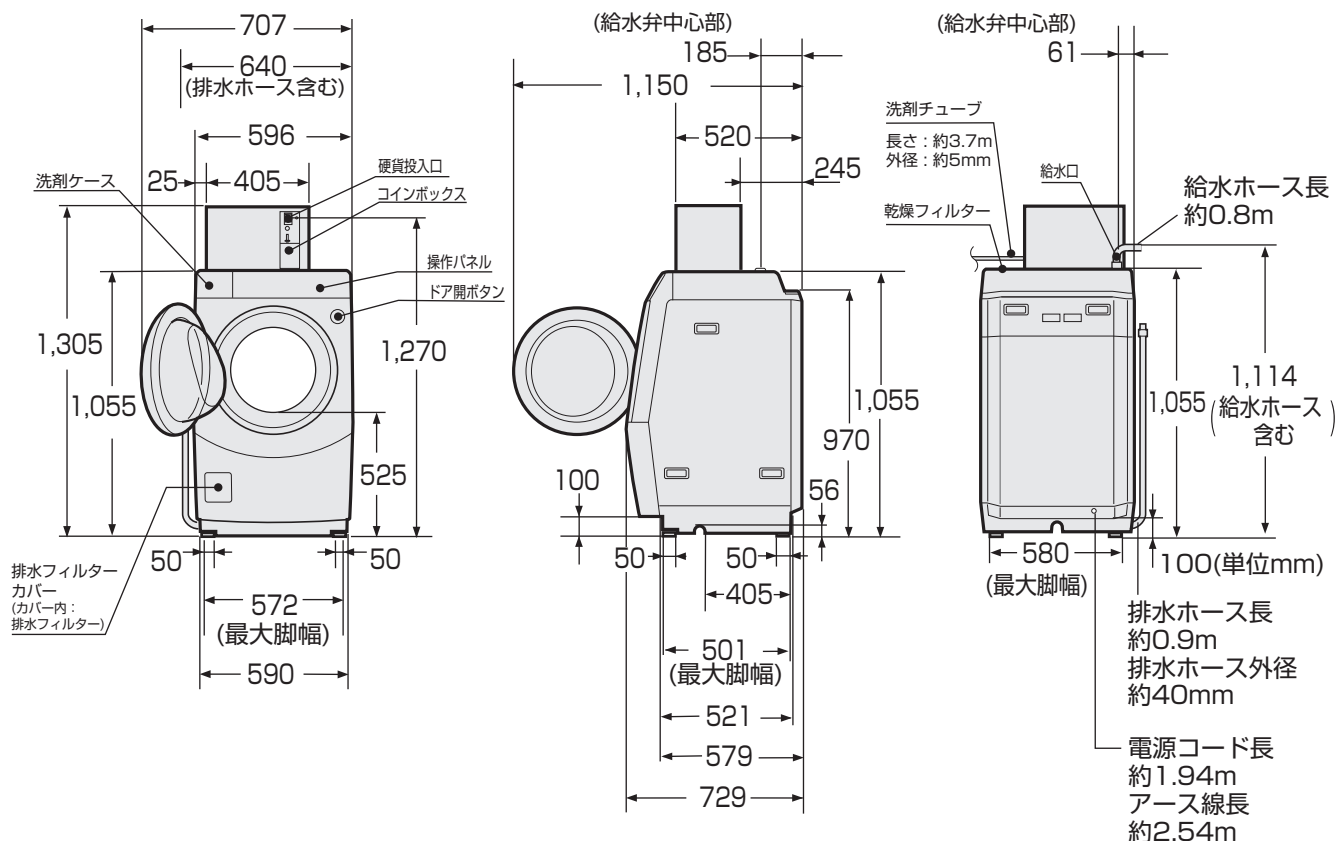
洗剤容器用 (13 ページ)

- ふた(1個)
- おもり用ナット(2個)
- T型ジョイント(1個)
- 結束バンド(1本)

据え付け前の確認 1

寸法図

(単位mm)



据付場所

- 平らな場所に設置する
- 次のような所には、置かない
 - 冬期に凍るおそれのある所(水抜きや解凍が必要)【残水の凍結による故障や異常動作、異音等の原因】
 - 直射日光のあたる所【紫外線でプラスチックが傷み破損したり、変形や故障の原因】
 - タイルなどのすべりやすい床、ベランダや弱い床、平らでない所、カーペットの上【振動や騒音が大きくなったり床を傷める原因】
 - ブロックやレンガ、角材の上など不安定な所【振動や騒音、本体が転倒してけがの原因】
- ラジオ、テレビなどは本体からできるだけ離す【雑音の原因】

設置寸法

壁の傷付き防止や点検のために

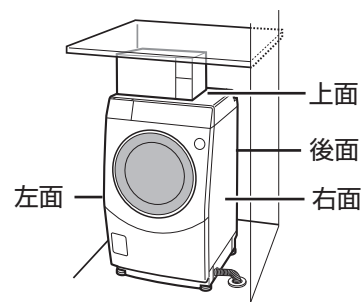
- 壁から1cm以上離し、前方は開放する。
- 排水口側は9cm以上離す。真下排水するときは1cm。
- 蛇口や水栓つぎてからも離す。

- 「消防法 設置基準」に基づく試験基準に適合しております。

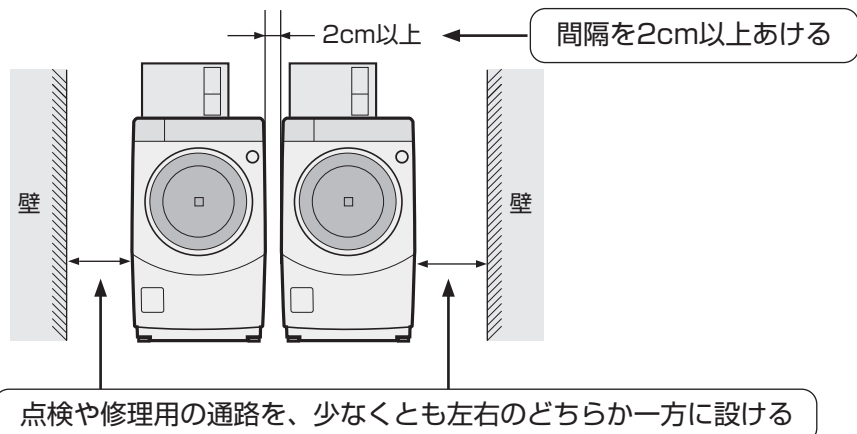
建築物の可燃物などからの離隔距離は、右表に掲げる値以上の距離が必要です。

消防法 基準適合 組込形

場所	離隔距離 (cm)
上方	0
前方	開放
後/右/左方	1
下方	0

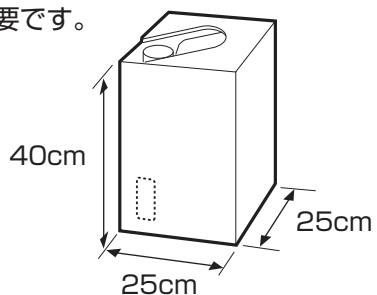


- 2台以上並べて使用する場合



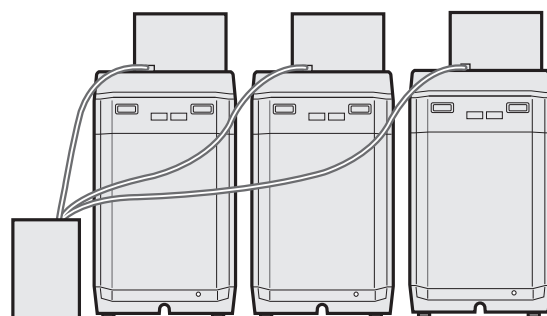
洗剤容器の設置について

- 洗剤容器を設置するために、右図のスペースが必要です。



- 洗剤容器は本体より高い場所に置かないでください。洗剤の流出が止まらなくなる可能性があります。

- 洗剤容器1個につき、3台まで使用できます。



据え付け前の確認 2

排水口の位置

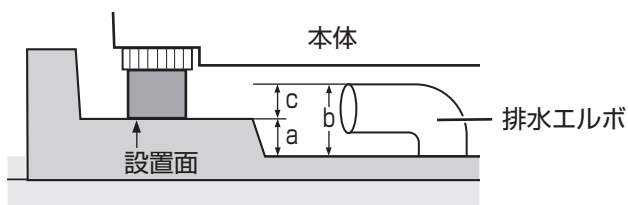
防水パンを使用する場合：排水口の位置と防水パンの種類により、別売品が必要になる場合があります。
床に直置きする場合：排水口が本体の真下にあるときは、別売品が必要です。

●別売品のご購入については、お買いあげの販売店にお問い合わせください。

排水口の位置	本体の真下以外		本体の真下			
	防水パン 内寸幅 680mm以上		台のない防水パン 内寸幅 600mm以上		台付きの(四隅が高い)防水パン 内寸幅 590mm以上	
使用可能な 防水パン						
排水エルボ	あり	なし	あり	なし	あり	なし

必要な別売品	(不要)	据付脚	真下排水 つぎてセット (据付脚同梱)	下記条件により 脚スペーサー または据付脚が 必要な場合が あります	排水しつぎて
--------	------	-----	---------------------------	--	--------

排水エルボが設置面より15mm以上高い場合は、高さ調整が必要です



排水エルボの高さ(b)と設置面の高さ(a)の差(c)によっては排水ホースと本体のすき間を確保するため、高さ調整が必要です。

下表を参考に、別売の「脚スペーサー」や「据付脚」で調整してください。

脚スペーサー※

据付脚



c寸法(c = b - a)	15mm未満	15mm以上 24mm未満	24mm以上 42mm未満	42mm以上 51mm未満
脚スペーサー(+9mm)	—(不要)	○(必要)	—(不要)	○(必要)
据付脚(+27mm)	—(不要)	—(不要)	○(必要)	○(必要)

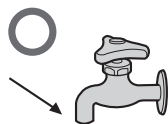
※ 固定脚に取り付けて使う。重ねると9mmまで調節可。調節脚で高さを調整して水平に設置する。 (11ページ)

水栓のタイプと蛇口の位置

適した蛇口

横水栓

先端の傷に注意
【水漏れの原因】



分岐水栓



洗濯機専用として使えます。
● 水栓つぎては不要です。

適さない蛇口

オートストッパー付き水栓ジョイント(別売品)をお求めのうえ、付け替えてください。

自在水栓



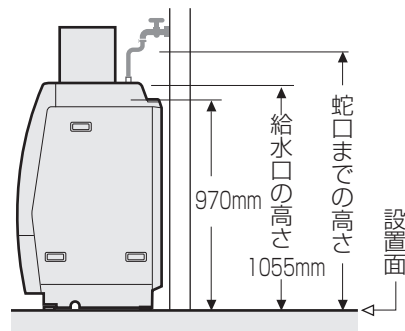
万能ホーム水栓



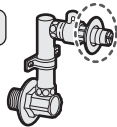
蛇口の位置

壁に沿わせて設置する場合、蛇口の位置によっては、給水ホースとの接続位置を高くするための、市販の水栓が必要になる場合があります。

設置面から蛇口までの高さ	(接続位置を高くするための)市販の水栓
1200mm以上	不要
980mm以上 1200mm未満	蛇口の種類によっては必要
980mm未満	必要(場合によっては設置不可)



水栓の例



必ず、給水ホースのレバーを受けるツバのあるものをご使用ください。

- 取扱説明書に記載している水栓以外は、日本電機工業会規格JEM1206準拠の水栓をご使用ください。ご不明な場合は水栓メーカーにお問い合わせください。
- 水栓にレバーをかけるツバのないものは使わないでください。【水漏れの原因】
- 埋め込み水栓には、日本電機工業会規格JEM1206対応であっても、レバーが確実にかけられなかったり、しっかり差し込めない場合があります。水栓メーカーにお問い合わせください。

電源とアース線

- 本機1台につき交流100V、定格15A以上で使用する
- アース工事(D種設置工事)をしたコンセントを使用し、本機のアースを確実に取り付ける

ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令で禁止されています)



- 水気や湿気の多い所に設置する場合は、必ずアース工事(D種設置工事)をするように法律で義務付けられています。水気のある場所では、漏電遮断器の取り付けも義務付けられています。

据え付ける 1

1：排水ホースの取り出し方向を変える (必要に応じて)

① 背面を下に向けて静かに倒す

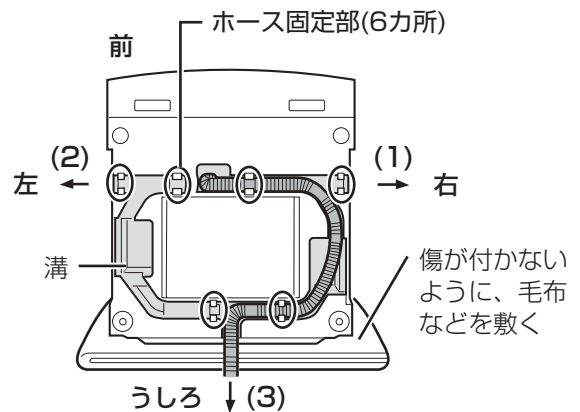
必ず輸送用固定ねじを付けて倒す

【付けずに倒すと、内部の機構部品が破損したり、水漏れの原因】

- ホース内に製品検査用の水が残っていることがあります。作業中に流れないようにご注意ください。

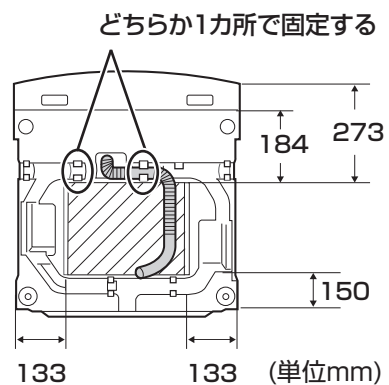
② 排水口の位置に合わせて、取出口(1)～(3)から取り出し、ホース固定部○で固定する

③ 静かに本体を起こす



排水ホースを本体の横から出さずに接続する場合

- 斜線部以外の位置に排水エルボなどがある場合、本体に当たって接続できないことがあります。

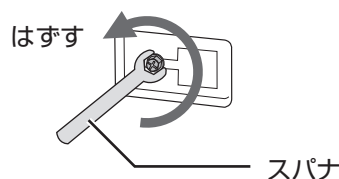


2：輸送用固定ねじをはずす

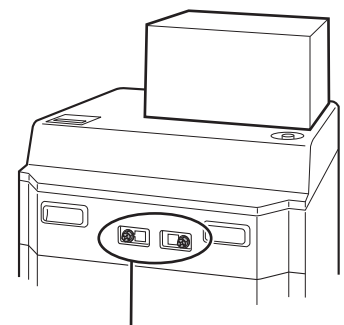
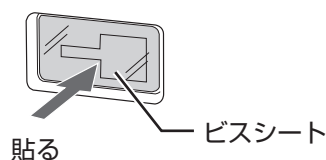
- 輸送用固定ねじ(2本)は必ず取りはずす【はずさずに運転すると異常な振動の原因】

取りはずした輸送用固定ねじは、転居や移設時に必要です。必ず保管してください。

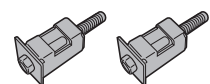
① 13mmスパナで輸送用固定ねじ(2本)をはずす



② 輸送用固定ねじをはずした穴(2カ所)に付属のビスシートを貼り付ける (けがを防ぐため)



輸送用固定ねじ(2本)

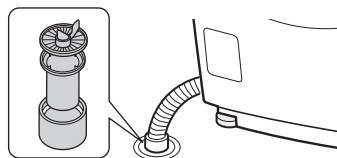


3 : 排水口に接続する

- 据え付け前に必ず排水口を掃除する

【排水が悪くなったり異臭の原因】

- 設置後も定期的に掃除してください。



- 排水ホースを本体や脚で敷き込まない
また、排水ホースが排水口から抜けないよう、
しっかり接続する

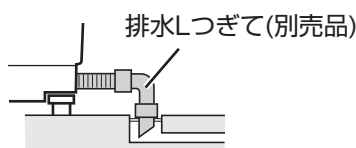
【接続不十分の場合、ホースが抜けて水漏れの原因】

- 水が流れやすいように排水口に接続する

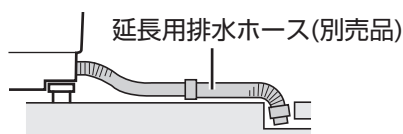
【排水が悪いと、排水時間がかかる、運転が途中で止まる、排水フィルターをはずすときに多量の水が出る、洗剤投入ケースから水漏れする原因】

- 排水ホースを本体や脚で敷き込まないまた、強く折り曲げない。
- 排水ホースが排水口から抜けないよう、しっかり接続する。
【接続不十分の場合、排水ホースが抜けて水漏れの原因】

- 排水ホースが折れ曲がるときは、
排水Lつぎて(別売品)で折れ曲がりを防ぐ



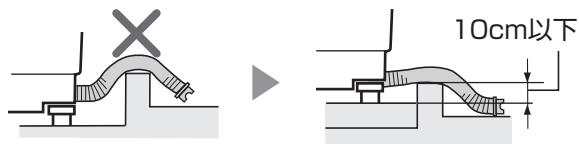
- 排水ホースが短いときは、
延長用排水ホース(別売品)を使う



- 延長用の排水ホースは、内径3cm以上、長さ1.5m以下のものをご使用ください。

- 設置面からの排水ホースの高さは、必ず10cm以下にする

【ホースの位置が高いと、給水が止まらない、運転が止まる、脱水中の異音などの原因】



ホースを切って短くする

排水ホースを切るときはくびれた部分で切って、スリーブを差し替える



据え付ける 2

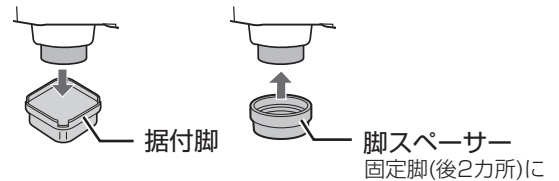
3 : 排水口に接続する (つづき)

真下排水のしかた

接続前に、必要な別売品を確認のうえご準備ください。 (6 ページ)

1

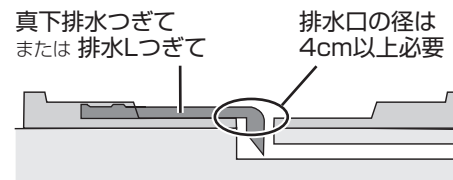
必要に応じて、据付脚 または 脚スペーサーを使う
(排水ホースが機構部に触れて破れるのを防ぎます)



2

真下排水つぎて または 排水Lつぎてが必要な場合は、排水口にセットする

- 真下排水つぎてが長い場合は、くびれた部分で切る。



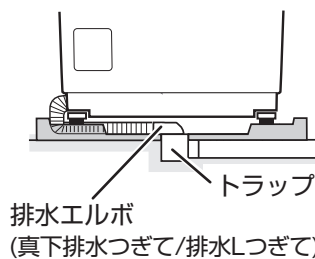
3

- ① 本体を設置し、排水口の位置に合わせて排水ホースを切る
- ② 排水エルボ(または 真下排水つぎて・排水Lつぎて)に接続する

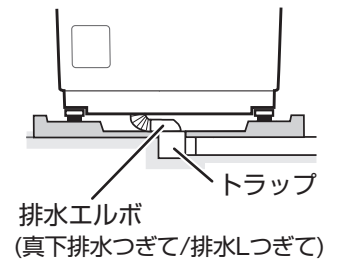
前パネルと回路ユニットをはずし、内部で排水口に接続する

- 作業中、手や排水ホースが、機構部に触れないよう、ご注意ください。
【けがやホースが破れる原因】

本体の横から取り出して接続する場合

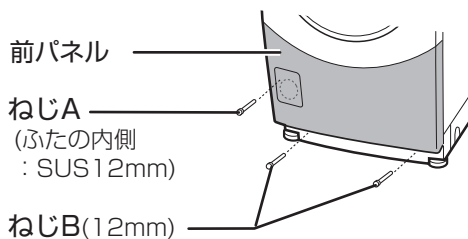


本体の横から出さずに接続する場合

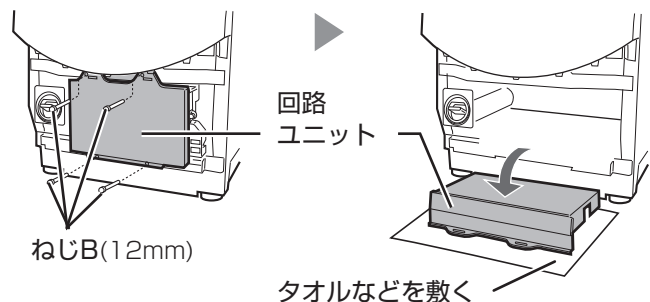


前パネル・回路ユニットのはずしかた (作業スペースが狭いときなどに)

- ① (ねじA・Bをはずして) 前パネルをはずす



- ② (ねじBをはずして) 回路ユニットを手前に倒す



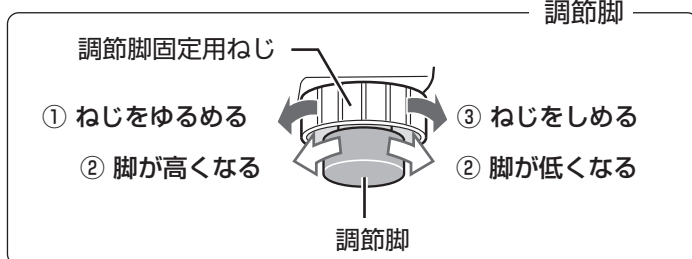
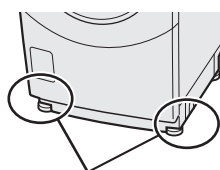
- ③ 作業後は、逆の手順で組み立てる。はずしたねじは必ず元の位置に取り付ける
【間違っていると、ねじがゆるみ、騒音や故障の原因】

4：がたつかないように調整する

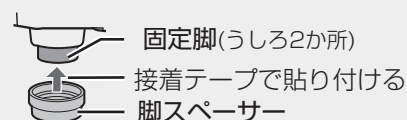
- がたつきをなくし、水平に設置する【がたつきや傾きは大きな振動や運転途中停止の原因】
 - ・ 設置後は本体上部の対角を押さえながら揺り動かし、がたつかないことを確認する。

調節脚(前2カ所)で高さを調節できます

- ① 調節脚固定用ねじをゆるめる
- ② 回して脚の高さを調節する
- ③ 調節脚固定用ねじで確実にしめ付ける
【確実にしめ付けないと振動の原因】



調節脚だけで調整できない場合は、脚スペーサー(別売品)で固定脚(うしろ2カ所)を調節してください。



- 重ねる場合は3mmを下にします。(逆にするとすき間ができる)



5：給水ホースを取り付ける (取り付けかたは 12ページ)

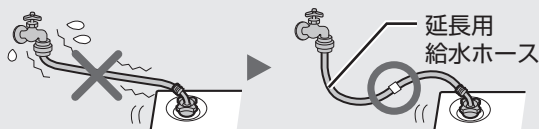
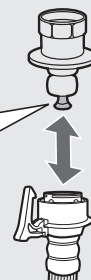
給水ホースを取り付ける前にご確認ください

ご注意

給水ホースは、正しく取り付けないと、水漏れの原因になります。ご注意ください！

- 水栓つぎと給水ホースは、必ず同梱のものか別売品をお使いください。
すでに付いている場合も新しいものに取り換えてください。
- 作り付けの水栓などで、接続部に傷がついていたり、さびやメッキのはがれがある場合は、新しいものに交換してください。また、取り付け前には接続部を確認し、ごみなどが付着している場合は取り除いてください。
【水漏れの原因】
- ホースの抜き差しは、まっすぐにおこなってください。
【ホース内部のパッキン(黒)が傷つき、水漏れの原因】
- ホースはゆっくり差し込んでください。
【ホース内部のパッキン(黒)がねじれて、水漏れの原因】
- ホースや接続部分などに、無理な力がかからないように取り付けてください。【水漏れの原因】
ホースが短い場合は、別売の延長用給水ホースで延長してください。

斜めに抜き差しすると、オートストッパー付き水栓ジョイント先端のレバーで、パッキンを傷つけることがあります。特にご注意ください。



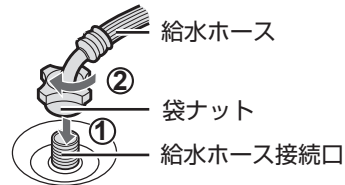
据え付ける 3

5: 給水ホースを取り付ける (つづき)

1

本体に給水ホースをつなぐ

- ① 袋ナットを給水ホース接続口にまっすぐあてがい、
 - ② 強くしめ付ける。
- 袋ナットをホースとともに動かすと、よくしまります。

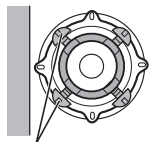


2

蛇口(横水栓 (7 ページ)) に、水栓つぎてを取り付ける

- 横水栓以外については、(7 ページ) をご覧ください。

- ① ねじ(4本)をゆるめて蛇口に当てる。



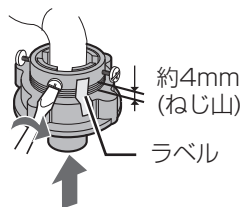
ねじを蛇口の径までゆるめて、中央に押し当てる。

壁側のねじ

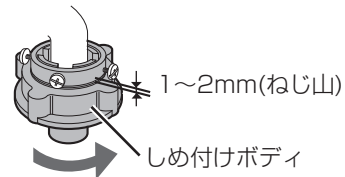
- 壁側のねじをあらかじめ調整しておくことで取り付けやすくなります。
- 蛇口の径が大きい(16mm以上)ときは、つぎてリングをはずします。



- ② まっすぐに押し当てながら、ねじを均等にしっかりしめ付ける。



- ③ ラベルをはがし、ねじ山が1~2mm程度になるまで、しめ付けボディを強く締める。【しめ付けないと水漏れの原因】



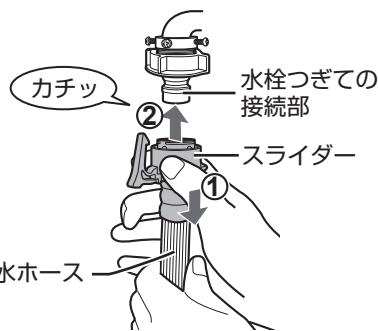
- 水栓つぎては、傾きやゆるみなく、蛇口の中央にしっかり固定してください。
- 取り付け直すときは、ねじ山が4mm程度見える状態まで一旦ゆるめてください。

3

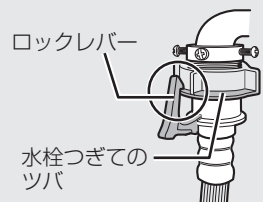
水栓つぎてに給水ホースをつなぐ

- 取り付け前、水栓つぎての接続部を確認し、ごみなどが付着している場合は水を含ませたやわらかい布で拭き取ってください。

- ① スライダーを引き下げながら
- ② 水栓つぎてにまっすぐ、「カチッ」と音がするまでゆっくり差し込んでから、スライダーをはなす。



- ロックレバーが、水栓つぎてのツバに確実に掛かっていることを確認してください。



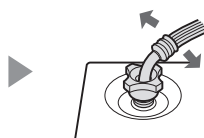
取り付け具合を確認・点検する

本体側

- 給水ホース接続部のぐらつき・ゆるみ、また、ホースの折れ曲がりがないか確かめる。【水圧で水が飛び散る原因】



いったんはずして付け直す



ホースの根元を持って左右に動かし、しめ付けを確認

水栓側

- ホースを引っ張り、傾き、ぐらつき、ゆるみなどがなく取り付けられている事確かめる。
- 蛇口を開き、水漏れしないか確認。水漏れしたときは、給水ホースをいったんはずして、取り付け直してください。(はずしかたは (裏表紙)) それでも水漏れが続く場合は、手順 ② に戻り、水栓つぎてを取り付け直してください。

- 水栓つぎては、長期のご使用でねじがゆるんだりすると、水漏れし、水浸しなど思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検してください。

4

試運転する 1

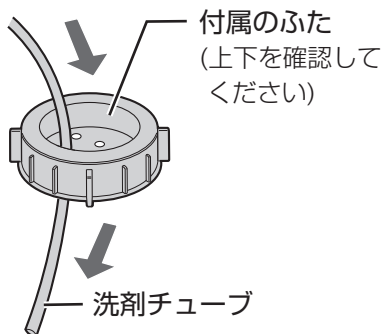
1：洗剤ポンプの準備

必ず専用洗剤をご使用ください。

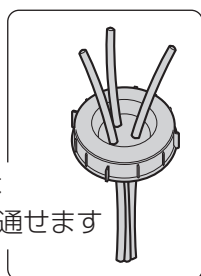
- 専用洗剤以外を使うと、洗剤ポンプが故障したり、液漏れするおそれがあります。また、適正な洗剤量が供給されないため、汚れ落ちやすすぎなどが悪くなったり、洗剤がなくなったことを正しく検知できなくなるおそれがあります。

1：洗剤チューブと洗剤容器を接続する

付属のふたに
(コインボックス裏側から出ている)
洗剤チューブを通す

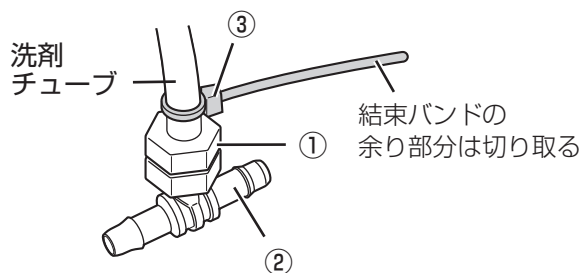


チューブは
3台分まで通せます



- 洗剤チューブを切る場合、チューブの先端が洗剤容器の底に確実に届くよう、長さに余裕を持たせてください。
- 洗剤容器は本体より高い場所に置かないでください。洗剤の流出が止まらなくなる可能性があります。

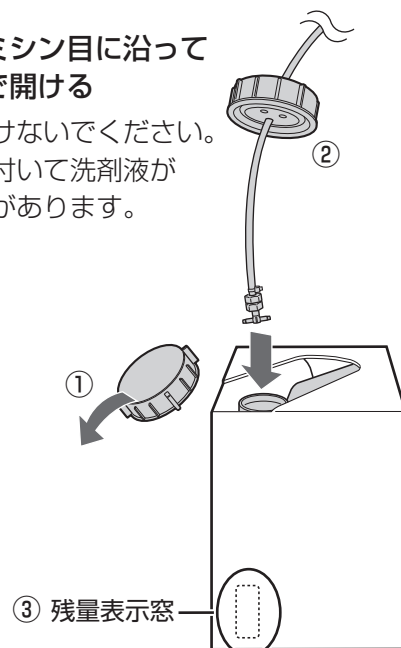
- ① 洗剤チューブの先端に付属のおもり用ナット2個を取り付ける
- ② 付属のT型ジョイントを取り付ける
- ③ ナットが移動しないように付属の結束バンドで留める



- ① 洗剤容器のふたをはずす
- ② 洗剤チューブの先端を洗剤容器の底まで確実に入れて、付属のふたを取り付ける

- ③ 残量表示窓をミシン目に沿って指で押し込んで開ける

- 刃物などで開けないでください。洗剤容器が傷付いて洗剤液が漏れるおそれがあります。

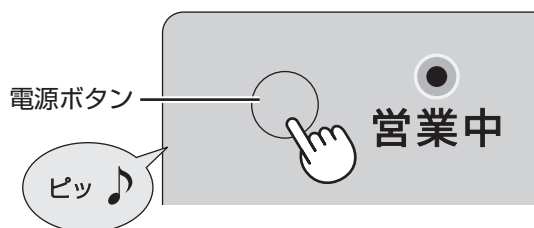


試運転する 2

1 : 洗剤ポンプの準備 (つづき)

2 : 洗剤ポンプに洗剤を充填する

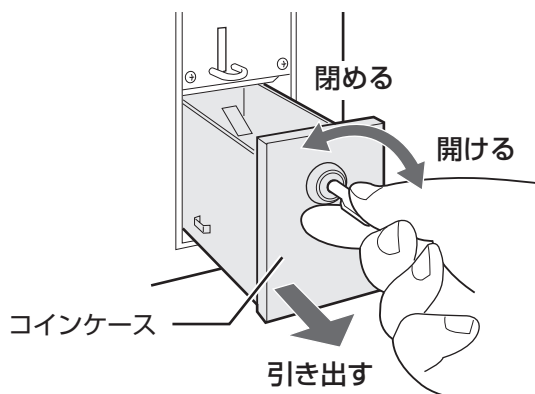
電源を入れて、蛇口を開ける



- 営業中ランプが点灯、ドラム洗浄ボタンやコース選択ボタンのランプが点滅します。

① コインケースをはずす

- 運転停止状態ではずしてください。



② 右横の穴に指を入れ、オーナースイッチを押す

- オーナーモードに入ります。



モード番号「1」を表示



① モード番号「4」を選ぶ



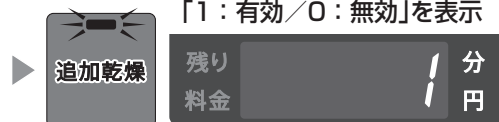
押すたびに番号が変わる



② 「4」を決定する



洗剤自動投入機能の「1:有効/0:無効」を表示



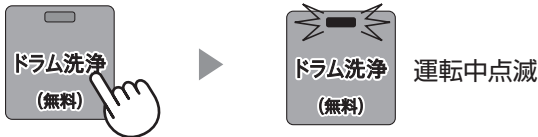
工場出荷時は「1:有効」に設定

本体から洗剤投入ケースをはずす



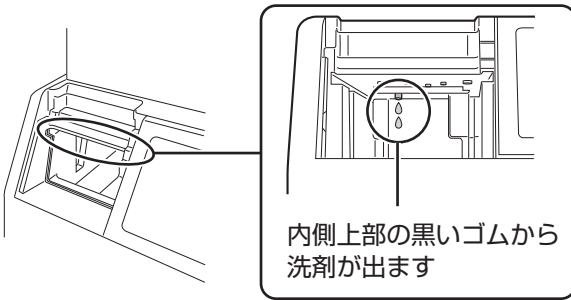
止まるまで引き出し、先端を持ち上げてははずす

① 洗剤ポンプを運転する



- 押すたびに、洗剤ポンプの運転/停止が切り換わる

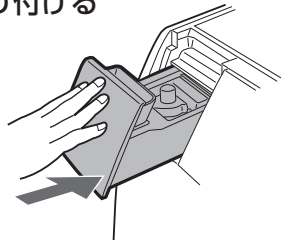
② 洗剤が流れることを確認する



- 初めて洗剤ポンプを使用するときは、1~2分かかります。(洗剤チューブに洗剤が行き渡るまでの時間)
- 洗剤を検知すると、自動的に止まります。(洗剤検知が「無効」の場合 **オーナー編** は、3分後または、「ドラム洗浄」ボタンを押すと止まります)

洗剤投入ケースを取り付ける

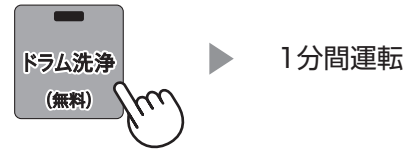
先端を軽くはめ、まっすぐに押し込む



- ① オーナースイッチを押して、オーナーモードを終了する
- ② コインケースを取り付ける

2 : 試運転する

ドラム洗浄コースで試運転をおこない、水漏れや異常振動がないことを確認する

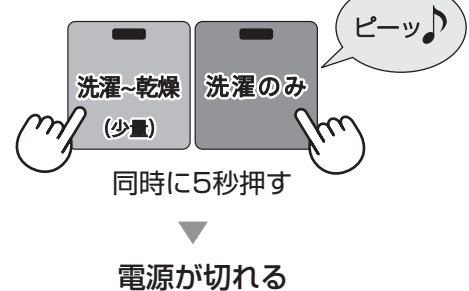


- ドラムには何も入れないでください。
- 運転後、ドラム内に泡が残っているときは拭き取り、もう一度ドラム洗浄コースを運転してください。(運転後3分間はドラム洗浄コースを選べません。すぐに運転したいときは、いったん電源を切り、入れ直してください)

必要に応じて **16ページ**

- ① 付属のラベルシートCを、洗剤ケースの下に貼る
- ② 運転回数・コイン枚数が「0」になっていることを確認する
- ③ コースの料金・乾燥時間を変更したり、暗証番号機能(セキュリティロック機能)を設定する **オーナー編**

電源の切りかた

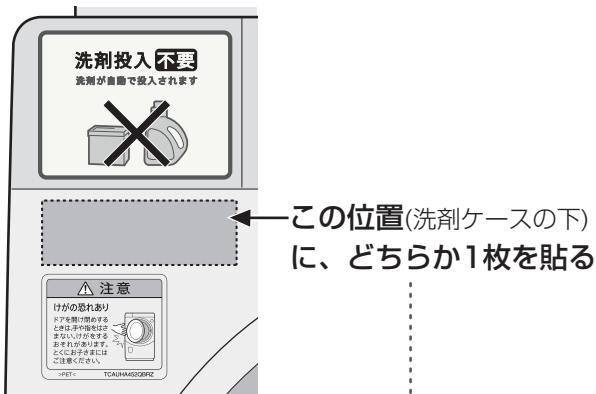


試運転する 3

3 : 必要に応じて

ラベルの貼りかた

- ラベルシートCのラベルを貼ります。
2種類のうち、オーナー(管理者)が選択したラベルを貼ってください。



【ラベルシートC】

エラー表示と対処方法	
E02	ドアが開いています 確実にドアを閉め、コース選択を押して再スタートしてください。
E04	衣類が偏って脱水できません ロックを解除し、衣類をほくしてから、コース選択を押して再スタートしてください。
その他のエラーが出た場合は、管理者に連絡してください。	

エラー表示と対処方法	
E02	ドアが開いています 確実にドアを閉め、コース選択を押して再スタートしてください。
E03	排水エラーです 管理者に連絡してください。
E04	衣類が偏って脱水できません ロックを解除し、衣類をほくしてから、コース選択を押して再スタートしてください。
その他のエラーが出た場合は、管理者に連絡してください。	

>PET< TLAB-B087QBRZ

上のラベル

- 「E02(ドア開エラー)」
 - 「E04(衣類片寄りによる脱水停止エラー)」
- の対処方法を
利用者にお知らせする

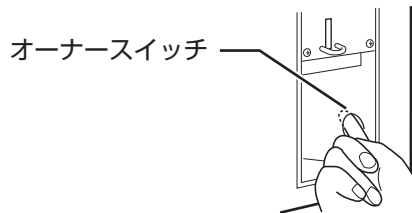
下のラベル

- 「E02」「E04」に加え
- 「E03(排水エラー)」
- の対処方法もお知らせする

運転回数・コイン枚数の確認のしかた

- ご使用前に各コースの運転回数・コイン枚数が「0」であることをご確認ください。
(ドラム洗浄コースは除く)
- まれに、製品検査時の運転テストの運転回数・コイン枚数が残っていることがあります。
その場合は、運転回数とコイン枚数をリセットしてからご使用ください。

オーナースイッチを押す



1

モード番号「1」を表示



「1」を決定する



洗濯~乾燥(標準)コースの 運転回数を表示

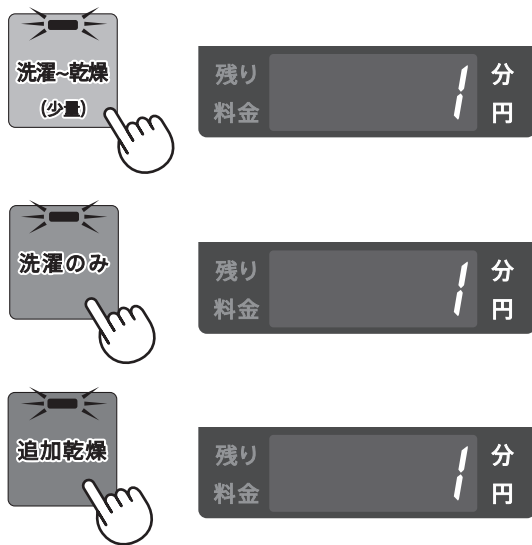


内容を確認する

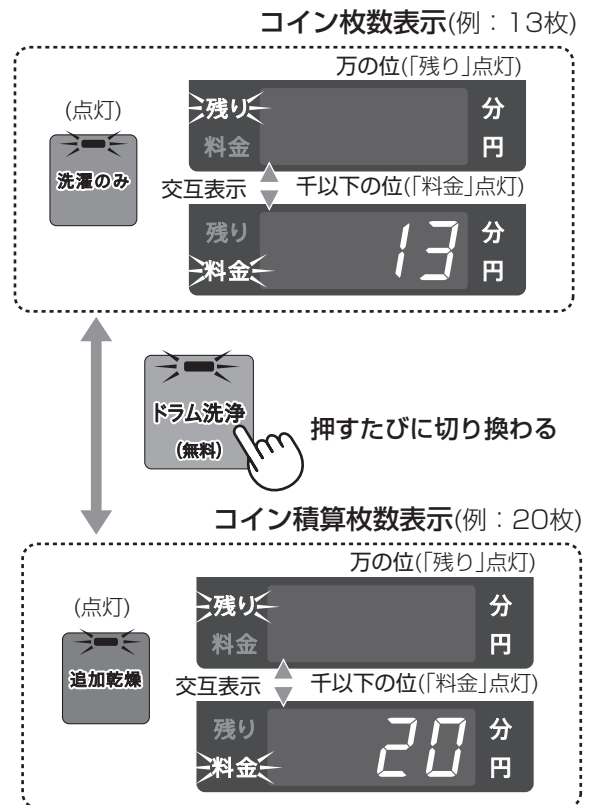
2

3

① 他のコースの運転回数を確認



② コイン枚数・コイン積算枚数を確認



4

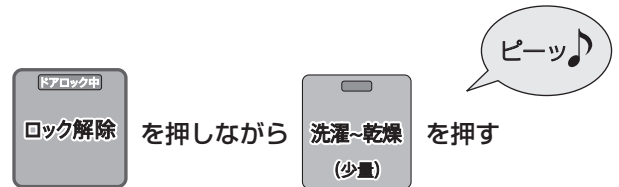
運転回数・コイン枚数が「0」の場合

手順5に進む

運転回数・コイン枚数が「0」でない場合

① 運転回数とコイン枚数をリセットする

- コイン積算枚数はリセットされません



▶ リセット完了

② 手順3に戻り、リセットしたことを確認する

5

① オーナースイッチを押して、オーナーモードを終了する

▶ 通常表示(コース選択表示)に戻る

② コインケースを取り付ける

転居、移設のとき

給水ホース・輸送用固定ねじ・排水ホースについて

● 転居や移設のさい必ずおこなってください

- 給水ホース内の水圧を抜いてから、給水ホースをはずす。
- 輸送用固定ねじを取り付けてから、移動する。(移動中の外槽の傷付きを防ぐ)
- 排水ホースをホース掛けに掛け、ガムテープなどで固定する。
(移動中に排水ホースが倒れ、ホース内の残水で床を濡らすのを防ぐ)

給水ホースのはずしかた

給水ホース内の水圧を抜く

① 蛇口を閉じる

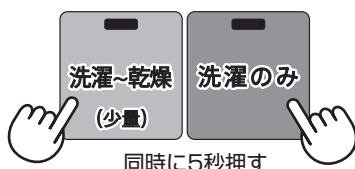
②



約15秒運転

- 「ドラム洗浄」ボタンが「無効」設定の場合
【オーナー編】は、「槽洗浄【本編】」を15秒程度運転してください

③ 電源を切る



同時に5秒押す

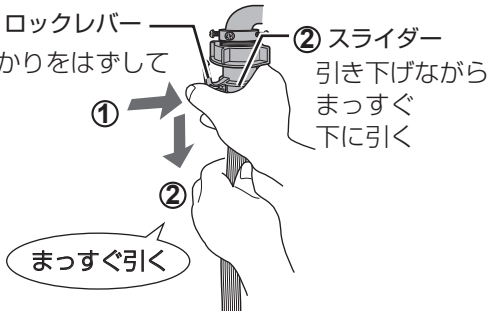
ピーッ♪

給水ホースをはずす

- ホース内に水が残っているので容器などで受けてください。

① ロックレバー
かかりをはずして

①

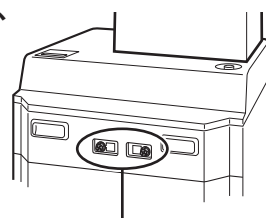


② スライダー
引き下げながら
まっすぐ
下に引く

まっすぐ引く

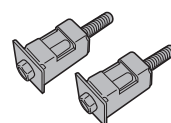
輸送用固定ねじの取り付けかた

ビスシートをはがし、
13mmスパナで
輸送用固定ねじ(2本)
を取り付ける

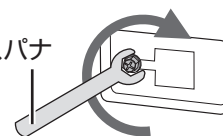


輸送用固定ねじ(2本)

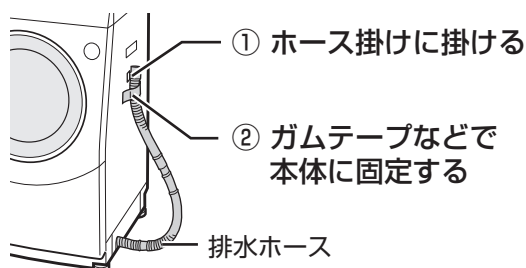
取り付ける



スパナ



排水ホースの処理のしかた



- ホース掛けは左右にあります。
- 切断した場合など、ホースが短くホース掛けに掛けられないときは・・・
⇒ 本体を傾けてホース内の残水を抜いてから、ホース先端を雑巾などでふさぎ、排水ホースを立てた状態にして、ガムテープなどで本体に固定してください。

シャープ株式会社

本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地